

令和6年度

伊東市民病院経営強化プラン  
進捗・達成状況点検評価報告書

令和7年6月25日に伊東市民病院管理運営協議会を開催し、伊東市民病院経営強化プラン（以下「経営強化プラン」という。）の令和6年度進捗及び達成状況等について、点検評価を実施いたしましたので、その結果を次のとおり報告します。

## 記

### 1 伊東市病院事業会計決算状況（税抜き）について

令和6年度伊東市病院事業会計収益的収支の決算は、収益が443百万円、費用が355百万円となったことから、差し引き88百万円の純利益を計上しました。

経営強化プランにおける令和6年度予算額との比較では、収益については収入予算額440百万円に対し3百万円増加したこと及び費用について支出予算額378百万円に対し23百万円減少したことにより26百万円の乖離となりました。なお、特別損益は利益、損失ともに0円でした。

経営強化プランの収入・支出見込額と実績額の主な乖離理由は、次のとおりです。

#### （収益）

(ア) 他会計負担金・補助金について、株式会社ウィーメックスから企業版ふるさと納税として受けた寄附金9百万円を他会計負担金として繰り入れた一方で、医療従事者就業支援事業の利用者がいなかったことで、医療従事者就業支援事業交付金分の繰入金が無かったことにより、9百万円の減となりました。

(イ) 国（県補助金）について、国庫補助金である臨床研修費等補助金が見込みより増加したことにより、2百万円の増となりました。

(ウ) その他医業外収益について、令和4年度に医療従事者就業支援事業交付金の交付を受けた産婦人科医が令和6年3月31日付で退職し、その就業期間が3年以内であったため、交付金額全額の返還を求めたことなどにより、10百万円の増となりました。

#### （費用）

(ア) 経費について、医療従事者就業支援事業の利用者数を2名で見込んでいたが、利用者がいなかったため、医療従事者就業支援事業交付金の支出が無かったことなどにより、17百万円の減となりました。

(イ) その他医業費用について、資産減耗費として器械備品である医療機器の除却費5百万円を見込んでいたが、見込みより機器の廃棄が行われなかったことにより、5百万円の減となりました。

(ウ) その他医業外費用について、費用支出額全体の減額に伴う消費税及び地方消費税算定に伴う特定収入消費税及び地方消費税等の減少などにより、2百万円の減となりました。

## 2 令和6年度指定管理者病院会計決算状況（税込み）について

令和6年度指定管理者病院会計収益的収支の決算は、収益が4,699百万円、費用が5,415百万円となったことから、差し引き716百万円の純損失を計上しました。

経営強化プランにおける令和6年度収支計画との比較では、収益については収入見込額5,618百万円に対し932百万円減少したこと及び費用について支出見込額5,585百万円に対し170百万円減少したことにより、733百万円の乖離となりました。なお、特別損益は利益、損失ともに0円でした。

経営強化プランの収入・支出見込額と実績額の主な乖離理由は、次のとおりです。

### （収入）

(ア) 入院収益について、医療需要が見込みより減少し特に夏季の入院患者の減少が大きく影響したことから、736百万円の減となりました。

### （支出）

(ア) 材料費について、患者数減少に伴う使用量の減少により、121百万円の減となりました。

(イ) 委託費について、近年の最低賃金の上昇、材料費の高騰により、7百万円の増となりました。

(ウ) 設備関係費について、新病院開院から12年が経過したことにより、機器の更新や減価償却費、修繕費、保守料が増加したため67百万円の増となりました。

## 3 経営強化プラン数値目標の実績

(1) 経営強化プランに設定した令和6年度の各指標の目標値及び実績値並びに評価は以下のとおりです。

### ①医療機能や医療の質、連携の強化等に係る指標

項目		目標値	実績値	比較	評価
医療機能に係るもの	救急受入件数（件）	7,000	6,888	▲112	B
医療の質に係るもの	在宅復帰率（%）	80	81.5	1.5	A
連携強化等に係るもの	紹介率（%）	70	74.0	4.0	A
	逆紹介率（%）	90	104.6	14.6	A
その他	臨床研修医受入件数（人）	14	16	2	A

②経営に係る指標

項目		目標値	実績値	比較	評価
収支改善	経常収支比率 (%) ※	100.3	86.8	▲13.5	C
	修正医業収支比率 (%) ※	94.8	81.4	▲13.4	C
収入確保	病床利用率 (%) ※	74.4	67.0	▲7.4	C
	平均在院日数※	14.0	15.3	1.3	B
経営の安定性	企業債残高 (百万円)	2,722	2,722	0	A

※経営強化プランにおいて設定した、令和6年度の医療機能等指標及び経営指標の数値目標に対し、以下の区分によって評価を行いました。

区分	評価の内容
A	目標が達成されている
B	目標には届いていないが、一定の実績がある
C	目標が未達成で実績不足である

(2) 令和6年度の各指標の実績に関する評価内容は以下のとおりです。

①医療機能や医療の質、連携の強化等に関する評価内容

項目	評価内容
救急受入件数 (件)	救急要請に対する応需率は概ね100%を維持し、受入件数は前年度とほぼ同数となった一方で、目標値を地域の高齢化等によりさらに増加すると予想し設定していましたが、伊東市及び近隣の地域の人口減少があり、目標値には達しませんでした。
在宅復帰率 (%)	目標値を上回る結果となりました。引き続き目標値を下回らないよう取り組みます。
紹介率 (%)	目標値を上回る結果となりました。今後も地域の診療所との役割分担に取り組みます。
逆紹介率 (%)	地域医療支援病院の要件になる目標値を上回る結果となりました。引き続き地域医療の基幹的施設として役割を果たすべく、取り組みます。
臨床研修医受入件数 (人)	目標以上の受け入れを行いました。今後も目標が達成できるよう取り組みます。

② 経営に関する評価内容

項目	評価内容
経常収支比率（％）※	病床稼働率の低下による入院収益の減少、委託費、設備関係費の増加により、目標を下回る数値となりました。
修正医業収支比率（％）※	事業外収益、事業外費用は大きな増減はなく推移しましたので、経常収支率を反映した収支率となりました。
病床利用率（％）※	医療需要が見込みを下回ったほか、夏季の患者数の減少が大きく影響し目標を下回る数値となりました。
平均在院日数※	地域の医療機能分化、入院診療単価等の観点から平均在院日数の目標値を設定していますが、市内に療養病床が無いことに加え、独居の高齢者が多いことなど、退院調整が難しい面があり、目標値より1.3日長くなりました。
企業債残高（百万円）	借入れがなかったため、目標値どおりでした。

4 点検評価の総括

点検評価に先立ち、事務局から「伊東市民病院経営強化プラン」の取組状況及び実績について説明を受けました。

次に、各委員から提起された病院事業についての意見等を踏まえ、令和6年度経営強化プランの進捗及び達成状況について慎重に審査した結果、当協議会としての点検評価意見は次のとおりです。

令和6年度における指定管理者病院会計決算では、前年度と比較し入院患者、外来患者ともに減少したことが主な要因となり、経営指標に係る数値で目標を達成することができませんでした。このことにより、令和6年度も赤字決算となったため経営改善に向けた取り組みが必須となっている。

今後も、地域医療の中核を担う地域医療支援病院として、住民が安心して医療サービスを受けられる体制を構築し、経営強化プランに定める各種施策に取り組むなかで、経営基盤の強化と患者サービスの質の向上に努めてください。